

第2回

あび中 社会科通信

2017/6/23

綱吉の文治政治と江戸時代の学問

23日（金）2限、教育実習生の村上颯太先生による授業が行われました。

江戸幕府は今まで、武力により政治を行っていましたが、5代将軍綱吉の時代には学問による政治に変わったこと、また財政再建がはじまったときでもあり、新井白石は貨幣の質をもとに戻すなど経済政策にも取り組んだことを学びました。

たくさんの先生が見に来ているなかで、緊張しながらもいつもどおり真剣に授業に取り組んでくれた2年1組。この授業を準備するために、たくさんの時間を使って取り組んだ村上先生。元禄期の江戸時代の様子がよくわかりました。

江戸時代の元禄期あたりの習慣で今につながっているものもたくさんあります。ひなまつりやこいのぼりなどの年中行事がそうです。

歴史を学ぶこ

とで、今の時代をより深く知ることができます。これからもしっかりと学んでいきましょう。



ご近所フィールドワーク ～長居公園と臨南寺と、ちょこっと月江院の巻～

長居公園の一角にお寺があるのを知っていますか？

そのお寺の名前は臨南寺。江戸時代初期の1645年に建てられた、なんと約370年も続く伝統あるお寺です。昔は臨南寺の周りに広い森があり、そこに長居公園がつけられたのだそうです。

第二次世界大戦中の1944年に長居公園が開園。戦後には競馬場や競輪場も作られましたが、約10年で閉園し、跡地に陸上競技場（現在のヤンマースタジアム）などが建設されました。

宗派は、鎌倉時代に道元がひらいた曹洞宗。只管打座（＝ただひたすら座禅を組むこと）を实践することで悟りをひらこうとする宗派です。

ちなみに、長居西にある月江院も同じ曹洞宗なのだとか。近所のお寺の宗派を調べてみると、歴史で学習した内容とつながって、何か新しい発見となるかもしれませんよ。



産経新聞6月9日午前、国会（斎藤良雄撮影）

譲位特例法 成立

譲位は江戸時代後期の光格天皇以来、約200年ぶりのことである。譲位は陛下一代限りとするが、政府は特例法が将来の譲位の「先例になり得る」との見解を示している。これにより天皇陛下の譲位後の呼称は「上皇」、皇后陛下は「上皇后」となる。上皇は再び皇位につく資格や、国事行為を代行する摂政の就任資格を持たない。

新天皇の即位に伴う元号の変更は、国民生活の影響がない程度に慎重に審議を行うとのことなので、また大きなニュースになるので、その際はぜひテレビやネットのニュースを見るようにしましょう。

補足

平成31年1月1日に天皇即位に伴う儀式を行うので、必然的に平成は30年までとなります。ですので、残り約1年半で平成は終わりを告げ、私たちが現在生きているこの時は「平成時代」となります。

